# ふるさとのことば⑤「すかぶら　からもん」

〈ふるさとの訛（なまり）なつかし停車場の人ごみの中にそを聞きにゆく〉は、よく知られた啄木の歌。

新しく町へきた風の人も、土地の人と付き合いを重ねていれば、ふるさとの訛ぐらいは覚える。

あごとうのきく（口先が上手）いえもち（家計のやりくり）かたする（仲間にする）ざまむない（みっともない）しかともない（上等のものではない）ほとめく（歓待する）などなど。

ところで、三池炭鉱（大牟田）華やかなりしころ、記憶にあるのがヤマことばの「すかぶら」だった。働かずに坑内をぶらぶら、与太話で仲間を笑わせ、鬼の現場監督も大目に見ていた男のことである。普段、遊ばせているから異変にはいち早く気付き、大事故を未然に防いだりして、それなりに役には立っていたらしい。

国鉄志免炭鉱にはそんな男はいなかったが、すかぶらだけは口々に言われていて、いまはれっきとした博多ことばだ。「まちいと仕事に身ば入れにゃあ、すかぶらじゃあ人に嫌われるぞぉ」と怠け者をしかったりする。

「からもん」も同意語。町のお年寄りや博多に生まれ育った人に「なぜ、そう言うのか」と尋ねてみたが、十人が十人「知らない」と答えた。独断的に言うなら、空言（そらごと）ばかりほざく怠け者と解すべきか。「空」を「から」と呼べば意味は通じる。

## 表紙絵は原田俊宏さん

広報「すえまち」表紙絵が新年号から変わりました。今年一年間は、現代美術作家である原田俊宏さんに担当していただきます。

この「すえまち」の表紙絵は、須恵町を代表する芸術の発信地である、久我記念美術館とゆかりのある方々に受け持っていただいています。

原田さんは、一九六七年生まれの三六歳。人と人、あるいは物や事との間にある、両義的・双方向的で流動的な関係性の問題などを、狭義の「美術」という方法にこだわらないやり方で表現しています。今回の表紙絵も、1年間の表現活動として展開される予定です。

原田さんは「この表紙絵は、単なるイメージではなく、切り取って掲示すれば実際にペナントとして機能するようになっています」と話されています。

なお、昨年の表紙絵を担当していただいた、白水佐代子さんには、心癒される俳句と墨彩画で表紙を飾っていただきありがとうございました。紙上を借りて、厚くお礼を申し上げます。

毎週 水・金 曜日の朝（10:00～12:00）は　65才以上

須恵町 わくわくデイサロン　要予約

ボランティアセンター1階（定員30名　自己負担　1回300円）

介護予防事業 1月のメニュー

- 16日(金) ほのぼの体操　高濱 弥生 先生
- 21日(水) ちりめんの数珠セット　柴田 先生
- 23日(金) わくわくタイム　梅野
- 28日(水) 布のさくらあーと 桜　梅野
- 30日(金) 音楽サロン　近藤 美奈湖 先生

介護予防事業 2月のメニュー

- 4日(水) フラワーアレンジメント　長尾 眞智子先生
- 6日(金) 布のさくらあーと さくら編　梅野
- 13日(金) ほのぼの体操　高濱 弥生 先生

申込み・問合せ先
須恵町
社会福祉協議会
☎ 933-2160



# 119 いちいちきゅう 備えは万全ですか？

## 一月十五日から一月二十一日まで「防災とボランティア週間」です

平成七年一月十七日、大きな被害をもたらした阪神・淡路大震災。私たちは都市型災害の恐ろしさを痛感しました。

あれから九年。忘れかけていませんか、あの未曾有の災害を…

昨年も、日本列島は宮城県北部の連続地震にはじまり、七月十九日の福岡県豪雨災害、そして、マグニチュード八・〇を記録した北海道十勝沖地震など、さまざまな自然災害に襲われました。

地震などによる、被害を最小限にできるかどうかは日頃の備えとともに、その瞬間にどれだけ適切な行動をとれるかにかかっています。

一月十七日は、防災とボランティアの日です。防災についてもう一度考えてみませんか、家族で話し合ってみませんか。

### 四つのテーマ

**一　家族一人一人の役割分担**

日常の予防対策上の役割と地震などの災害が起きたときの役割の両方について決める。お年寄り、病人、小さな子どもがいる場合は、誰が保護するかなども話し合う。

**二　家の危険箇所チェック**

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。放置できない危険箇所については、修理や補強の方法についても話し合う。

**三　非常持ち出し品のチェックと入れ替え**

家族構成を考えながら必要な品が揃っているかチェックする。定期的に新しいものと取り替える必要があるもの（使用期限のある非常食、水、乾電池など）は、誰が担当するかなども話し合う。

**四　地震などの災害時の連絡方法や避難場所の確認**

家族が離れ離れになったときの連絡方法や、避難場所を確認する。避難コースの危険箇所についても話し合い、できれば休日などを利用し、散歩を兼ねてみんなで下見をしておく。

## 地域安全速報　安全安心まちづくり粕屋地区 セフティタウン須恵 ～初詣などの混雑場所でのスリにご注意～

初詣で混み合う神社や満員電車、バス、デパートやスーパーなどの混雑した場所では、スリが狙っています。

**●被害に遭わないために、次のことに注意しましょう**

**（被害防止のポイント）**

○電車や人混みの場所では、ショルダーバックなどは前にかかえこんで持ちましょう。

○財布などの貴重品は、できるだけ肌身離さずようにして持ち、背広やズボンのポケットに入れる場合は、必ずボタンをかけましょう。

○ショルダーバックを持つときは、ふたの留め金部分を内側にして持ち、また、キンチャク型のバックは、必ず、ひもを結んで持ちましょう。

●被害にあったら、**すぐ110番**しましょう。

●被害防止は、あなた自身の心がけです。

**●問合せ先**　粕屋警察署・粕屋地区防犯協会
☎939－0110（内線261・262）

## ○救うのは身近なあなたの応急手当

突然の事故から、愛する人の尊い生命を守るために、職場の方やお隣近所誘い合って、救命講習会に参加しませんか。

消防本部では次のとおり「定期普通救命講習会」を開催します。ぜひ参加して下さい。

**▼日時**　二月十四日（土）九時三十分～十二時三十分
**▼場所**　粕屋南部消防本部
**▼定員**　三〇人
**▼対象**　十五歳以上
**▼受講料**　無料
**▼申込み・問合せ先**　粕屋南部消防本部救急係
☎935・5111